

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2023年 12月 4日

事業所名：みらいキッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	定員10名に対して73㎡の空間がある。	概ね良い	野外の活動や別の教室の利用をしながらスペースの確保をしていく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	配置基準を遵守し、安全に配慮した配置やプログラムの計画を行っている。	基準が守られており、専門職の配置もされている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備がされているか	名前や約束事の掲示をしている。 トイレは車椅子対応。	良い。 集中力持続のためにいろいろ工夫してもらっている。	机や椅子の高さなど改善すべき点もあり今後検討していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々清掃 消毒を行っている。 明るく、余剰のある空間を心掛けている。	概ね良い 別室なども用意され、安心できる空間が確保されている	環境の整備や消毒の徹底の強化と継続をしていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	個別・特別支援計画書に基づいて療育を実施し、担当職員との振り返りも行っている。		継続していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	苦情解決における第三者委員を設置している。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時・更新時の研修に加え、定期的な内部研修や外部研修への参加 案内を行っている。		定期的な研修会の実施と外部研修への積極的な参加をしていく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の特性や状況を観察し、各自の課題や保護者の意向に基づいた計画を作成している。	とても良い。保護者の要望なども細かく受け止めて貰っている。	それぞれの特性にあった支援を心がける。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動を基本としながら、個別の課題や目標、嗜好等を考慮した個別活動を組み合わせている。		それぞれの特性にあった支援を心がける。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	生活に即した支援項目を設定し、個別の課題に合わせて支援内容を設定している。		様々な視点からの意見を踏まえて作成にあたる

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	プログラムの作成や、指導にあたり職員間で共有する支援の視点は計画に基づいている。	良い。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各職員のアイデアを実現するようミーティングで検討、実施している。	良い。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	日曜日や年末年始等を除いて運営しており、代休や下校時間の変更にも対応している。	良い。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	スタッフ間で話し合い行っている。	良い。 色々なプログラム、実験や工作をしているところが評価できる。定期的な野外活動も充実している。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	10:15分の社員ミーティングと14:00の全スタッフミーティングの2回確認を行っている。		支援開始前の情報共有と周知徹底を怠らないよう実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動の様子とヒヤリハットなどの共有を行っている。 全スタッフへの共有は翌日のミーティングで行っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日次記録の保護者様からの返信を職員全員が目を通すようにしている。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3か月経過時に支援経過の協議、半年経過時にモニタリングを行っている。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者、または管理者が参加している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	担当者会議への参加や他事業所との情報共有を行っている。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	保護者に主治医の聞き取りを行っている。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	努めている。	相互での情報交換に努め共有していく。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	前例がないが、努めることが理念であると理解している。システムとして作り上げたい。	必要な場合は情報提供を行うようにする。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修や巡回支援に申し込んでいる。 前年度巡回支援をうけている。	参加できるよう調整する。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	イベントの案内を送っている。同系列グループ内の交流はできている。公園での健常児との交流はある。	概ね良い。 制限も緩和され少しずつ交流できればよい。	姉妹店との合同企画などを行っている。 リモートの活用なども検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	駄菓子屋を活用した企画の一部を一般に公開している。	機会があれば活動して欲しい。	感染予防を徹底しながら、地域活動への参加の機会を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行い、大きな行事の際に改めてお知らせをしている。	良い。 利用開始時にきちんと説明があった。	変更点などがある際には、速やかに変更点の説明を行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	努めている。	良い。 計画案に基づき説明があった。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会、茶話会がコロナの影響で開催できず。 また、研修会の案内等を行っている。	悩んだり、困っているときにアドバイスをもらえるところがよい。	今後も電話や連絡帳で保護者との繋がりをもち続けることが重要と考えている。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を用いて日々行っている。個別の相談にも電話や面談を通じて行っている。	良い。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	努めている。	毎日の連絡帳で細かく伝えられていて安心がある。写真もあり、様子がわかる。	面談や家庭連携を取ることで、相談しやすい環境を作っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの影響で茶話会、保護者会が開催できず。	良い。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速に管理者が対応するよう努めている。ヒヤリハットを記載し共有している。	良い。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	心掛けている。	良い。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回通信を予定表と合わせて発行している。	写真付きなのが良い。子供自身も思い出しながら、会話が弾みやすい。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	心掛けている。鍵付き書庫で保管している。	巡回支援など事前に連絡があった。	個人情報の取り扱いは引き続き十分に注意する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	研修を行っている。	良い。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震、火災を想定し、年2期複数回行っている。	良い。子供の話やお知らせで実施しているのがわかる。保護者へのお知らせや実施時の写真で様子がわかる。	引き続き取り組む。
	3 虐待を防止するための職員研修機等の適切な対応	年数回、定期的に研修を実施している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	あってはならないことと理解している。今後必要があればケースの想定し検討する。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの基礎知識を研修している。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	同法人の事業所間でも共有している。		











